

阪神間の近代建築と甲子園会館

—日本インテリア学会大会記念リモート講演会・見学会—

日本インテリア学会では、オンラインライブ方式にて、第33回学会大会を武庫川女子大学で開催します。それに併せ、リモートで講演会、見学会を開催します。

リモート見学会では、武庫川女子大学の建築学部校舎としても活用されている、F.L.ライトの愛弟子である遠藤新設計の甲子園会館（旧甲子園ホテル）を、デザインのルーツや意味を踏まえて、動画や写真、ライブ映像によってご案内します。講演会では、近代建築研究の第一人者である武庫川女子大学教授／石田潤一郎先生（京都工芸繊維大学名誉教授）に、甲子園ホテルと時期を前後して開発が進んだ、阪神間の近代建築について講演していただきます。

現地でのイベントではありませんが、インターネット環境があれば移動せずに手軽に参加していただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

2021年10月24日(日)
13時10分～16時30分



旧大宴会場前ホール

甲子園会館(旧甲子園ホテル)

南面外観

西ホール(旧大宴会場)

地下のBAR床仕上げ



第1部 記念講演会 [阪神間の近代建築]

13:10～14:40

講師 武庫川女子大学教授 石田潤一郎

大阪と神戸のあいだ、六甲山系南麓と大阪湾戸に挟まれた地域は、恵まれた自然環境のもと、早くから郊外住宅地として開発されてきました。そこでは「郊外居住」という新しいライフ・スタイルをどのように住宅空間として具体化するかさまざまな提案が生まれました。また、「阪神間」の prestige がもたらす豊かな地方財政、そして酒造業を中心とする地場産業の活況によって、教育機関、公共施設、企業社屋においても多くの優品が生まれてきました。阪神間には地域と建築文化の幸福な結びつきが今でもたしかな手応えを持って感じ取れます。その在りようを以下のようなコンテンツを通して紹介します。

1. 「郊外の発見」と阪神間
2. 近代住宅の様式
3. 「阪神間モダニズム」の担い手

第2部 見学会 [甲子園ホテルをめぐる一遠藤新とフランク・ロイド・ライト]

15:00～16:30

講師 武庫川女子大学教授 黒田智子

大正11（1922）年、武庫川支流の枝川が、樋門の止水により広大な線状の大地として、新しく生まれ変わりました。そこに甲子園球場（1924）、甲子園ホテル（1930）が建設されたのです。ライト式建築として名高い迎賓館・甲子園ホテル。現在の武庫川女子大学甲子園会館の誕生です。緑深い松林と南面する池を活かしながら、両手を伸ばして天を振り仰ぐ人の姿に見立てたというホテルは、大地と日本人の両方に刻まれた近代の記憶と、遠藤が願う永遠の理想とを内包しているのです。尊敬する師フランク・ロイド・ライトの手法を基盤に、愛弟子であった遠藤新が創り上げた建築表現は、他者への慈愛の世界観に貫かれているといえるでしょう。甲子園ホテルがもつ格調高い装飾性と温もりある構成美を、時空を超えてしばしば共に楽しみ頂きたいと思えます。

日 時：2021年10月24日（日） 13:10～16:30 （12:50受付開始）

参加費：1,000円(税込)

参加申込：日本インテリア学会HPの、見学会申し込みページに必要事項をご記入ください。
<http://jasis.weblike.jp/form/33-speech/>

支払いは下記口座（名義人：ヤマウチ カズヒロ）にお振り込みください。

【ゆうちょ銀行 店名 四一八(ヨンイチハチ) 店番 418 普通預金 No. 0652474】

締 切：2021年10月8日 <振込期限：2021年10月15日> ※定員に達し次第締め切ります

参加方法：ZoomウェビナーURLをメールにてお送りします。

【振込確認後、参加方法をお申し込み頂きましたメールにてお知らせいたします。】

主催：日本インテリア学会関西支部
担当：来海、山内
問い合わせ先：jaiskansai@gmail.com